

前進座
友の会

俳優の息遣い感じる稽古場での、三二朗読会第3弾！

「新年稽古場朗読会」

会場は、普段は入る機会の少ない前進座の「稽古場」、
定員は限定 40 名

贅沢な空間で味わう、歌舞伎と定評ある清張シリーズの、朗読劇の世界——
ご好評いただいております前進座友の会の「三二朗読会」第3弾
2本の朗読劇と新年ご挨拶・お楽しみ企画でお届けする新春イベントです。
ぜひ、お誘い合わせてご参加ください！

「月も朧に白魚の～

……こいつあ春から縁起がいいわえ」

あまり歌舞伎をご存じない方でも、きっとどこかで聞いたことのある、七五調の名台詞で有名な「大川端庚申塚の場」。歌舞伎『三人吉三巴白浪』のなかで、“吉三郎”という同じ名を持つ3人の盗人が初めて出会う場面です。歌舞伎公演で単独で上演されることの多いこの名場面を、今回は4人編成の「朗読劇」でお楽しみいただきます。

原作＝松本清張

脚色・演出＝鈴木幹二

「松本清張朗読劇シリーズ」より

『疑 惑』

出演 嵐 芳三郎
浜名 実貴
松永 瑤
中野 里咲

河竹黙阿弥＝作

さんになきちさとえのしらなみ
『三人吉三巴白浪』より

おおかわばた こうしんづか

「大川端庚申塚の場」

出演 上沢 美咲
藤井 偉策
松永 瑤
中野 里咲

雨の夜、北陸富山市で乗用車が岸壁から海に転落、地元の資産家が亡くなり、同乗していた若妻・球磨子だけが助かります。球磨子には詐欺・傷害の前科があり、夫に三億円の保険金を掛けていたことから、殺人容疑で逮捕され地元紙は「希代の悪女鬼クマ」と書き立てます。球磨子の弁護人はなかなか確定せず、結局、民事専門の国選弁護人・佐原律子に決まります。果たして球磨子は有罪なのか無罪なのか…。息詰まるスリリングな社会派法廷推理の傑作をお届けします。

2023年1月28日(土)開演 11:00 / 14:30

29日(日)開演 11:00 / 14:30 (貸切)

※上演時間約2時間(休憩含・予定)

会場 前進座稽古場

※JR中央線「吉祥寺駅」アトレ東館口徒歩2分
京王井の頭線「吉祥寺駅」公園口徒歩5分

参加費 3,500円(全席自由)

お問合せ・お申込み

前進座友の会 ☎0422-49-0300

※平日 10:00～17:00(土日祝・12/29～1/4 休)



※稽古場は、箱馬(木製の箱)とパイプ椅子に座布団を当ててご用意致します。
※お申込みいただきましたら、参加券と郵便振込用紙をお送り致します。
(日が迫ったら当日のお渡しとなります)

「前進座友の会」会員以外のお客様へ

本朗読会は、友の会会員さんとそのお連れ様を対象としたイベントです。

前進座友の会は、前進座公演がお得にご観劇いただけるだけでなく、観劇をより楽しむための“芝居塾”や俳優との交流会など、楽しいイベントを開催しています。

◆今ならお得に入会できます◆

「友の会」の会計年度は6月～翌年5月となっており、
現在は、会計年度の半期経過によって
個人会員は年会費が半額の1,500円
で入会できます！

ぜひこの機会にご入会いただき
「新年稽古場朗読会」にご参加ください！